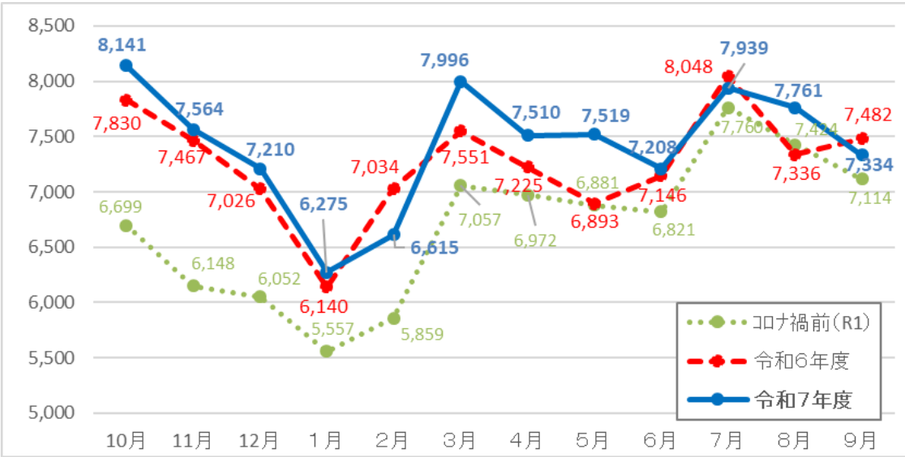
資 料 2

■ コミュニティバスの利用状況の推移

全体概要

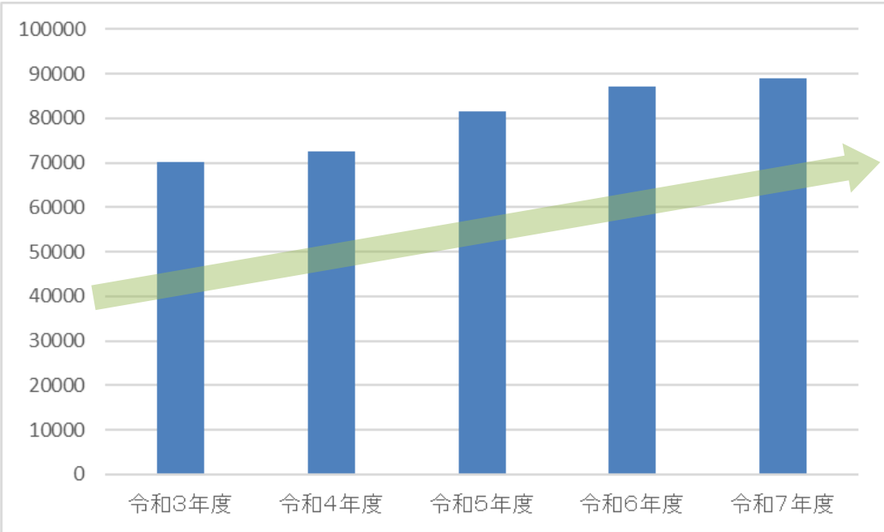
○全体

図１　総利用者数の推移　（単位：人）



※ 国庫補助対象事業における事業年度を基準に比較
（赤線：令和５年 10 月～令和６年９月、青線：令和６年 10 月～令和７年９月）

図２　直近５年間の総利用者数の推移　（単位：人）

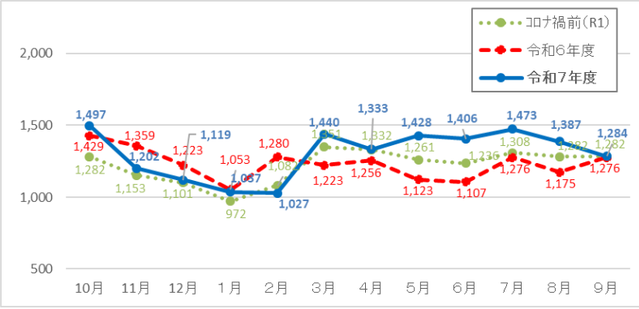


総利用者数は、全ルート合計で前年度に比べ約2.2%増加し、令和６年度の伸び率（約6.7%）よりは減少したものの、引き続き増加傾向が続いている。しかしながら、ルートにより増減の推移にばらつきがあり、今後は、新規利用者の獲得に向けて、利用促進活動を継続して実施するとともに、**サクラルートの活用やスムーズな移動ができる方法の情報提供を行い**、利用喚起に注力していく。

ルート別の利用状況

○オレンジルート（市内の主に北側の区域を運行）

図３　オレンジルート総利用者数の推移　（単位：人）

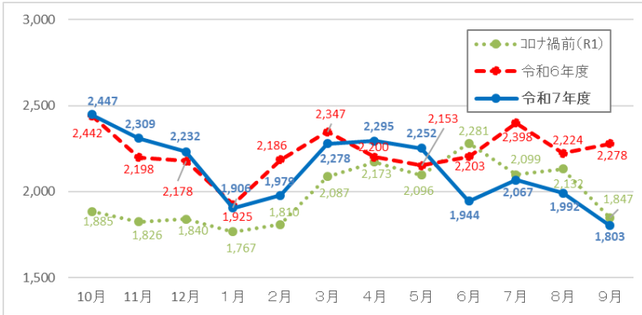


期間後半は利用者数が大きく増加し、**前年度比105.8%となった。主に西枇杷島地区の利用が増えており、**引き続き利用者の定着を目指して利用喚起を行う必要がある。

利用者が多いバス停（降車ベース）		
順位	R5.10～R6.9	R6.10～R7.9
1	ヨシヅヤ清洲店（20.7%）	ヨシヅヤ清洲店（19.7%）
2	枇杷島駅東口（14.2%）	枇杷島駅東口（13.9%）
3	清須市役所　（8.9%）	清須市役所　（8.6%）

○グリーンルート（市内の主に南側の区域を運行）

図４　グリーンルート総利用者数の推移　（単位：人）

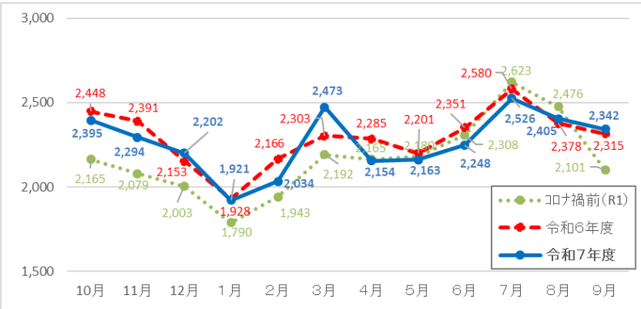


多くの方が利用する湯吉郎が６月から臨時休業にしたことにより、合計で**前年度比が95.4%と減少に転じた**。一方で、当該施設があるバス停を除くと**ほぼ横ばいを維持**しているが、**新規利用者の獲得が課題**である。

利用者が多いバス停（降車ベース）		
順位	R5.10～R6.9	R6.10～R7.9
1	ヨシヅヤ清洲店（19.4%）	ヨシヅヤ清洲店（21.6%）
2	枇杷島駅西口（9.1%）	枇杷島駅西口（8.2%）
3	豊公橋北(湯吉郎)(6.2%)	清須市役所（6.6%）

○サクラルート（市内の主に中央を運行）

図５　サクラルート総利用者数の推移　（単位：人）

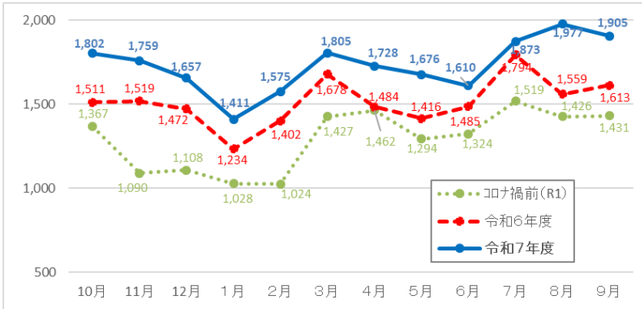


月によっては昨年度を上回ることもあったが、全体的には**前年度比98.8%と、微減**した。他ルートと重複するバス停も多く、代替手段としてサクラルートの利用を案内するなど、**スムーズに移動できることをアピールする必要がある。**

利用者が多いバス停（降車ベース）		
順位	R5.10～R6.9	R6.10～R7.9
1	ヨシヅヤ清洲店（26.6%）	ヨシヅヤ清洲店（26.5%）
2	新川福祉センター（6.9%）	新清洲駅北口(7.6%)
3	ヤマナカ･ロイヤル西（6.5%）	ヤマナカ･ロイヤル西（6.9%）

○ブルールート（市内の主に春日地区を運行）

図６　ブルールート総利用者数の推移　（単位：人）



令和６年度も前年度比で123.1%と顕著に増加したルートであったが、令和７年度も**前年度比で114.4%と大幅に増加**した。どのバス停も全体的に利用が伸びており、継続的な利用促進事業などの**一定の効果が見られると推察する。**

利用者が多いバス停（降車ベース）		
順位	R5.10～R6.9	R6.10～R7.9
1	清洲駅（34.3%）	清洲駅（34.5%）
2	ヨシヅヤ清洲店（27.3%）	ヨシヅヤ清洲店（26.3%）
3	はるひ呼吸器病院（4.9%）	はるひ呼吸器病院（5.5%）